

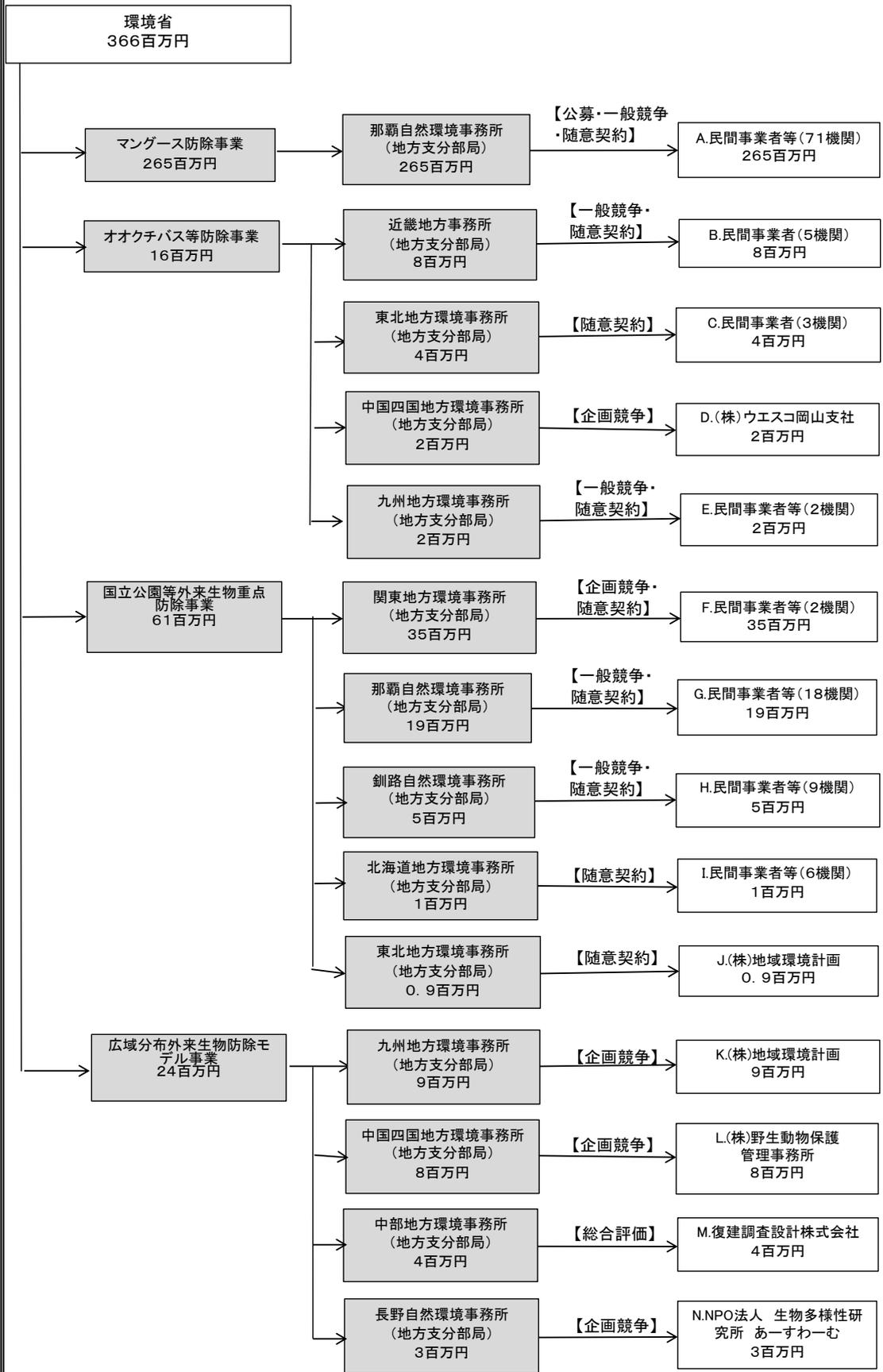
平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	特定外来生物防除等推進事業	担当部局庁	自然環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度	担当課室	外来生物対策室	室長 関根 達郎			
会計区分	一般会計	施策名	5-3 野生生物の保護管理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律 第11条	関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2010(H22.3.16閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定外来生物を防除することにより、生態系等への被害を防止する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	生態系等への被害を防止するため、希少種の生息地や国立公園など、我が国の生物多様性保全上特に重要な地域において特定外来生物の防除を行う。 また、全国的に分布、定着し、広域で被害を発生させている特定外来生物について、各地の地方公共団体、民間団体及び地域住民が連携して効果的に防除を行えるよう、防除モデル事業により実施体制や防除技術の検討を行い、特定外来生物の防除が円滑に推進されるよう支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	327	349	372	325	206
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	327	349	372	325	206
	執行額	321	340	366			
執行率(%)	98%	97%	98%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	本事業は、特定外来生物の根絶・低密度化、防除の体制や手法の確立を目標として、各地で防除を実施しているものであり、これらを全体的に評価する指標が存在しないため、全体についての定量的な成果目標・成果実績を示すことはできない。 ただし、マングースやグリーンアノール等については、低密度化等の効果を確認している。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業費による、防除事業の実施箇所数	活動実績(当初見込み)	力所	19	17 (17)	23 (19)	— (23)
単位当たりコスト	1カ所あたりの防除事業費用平均値 16(百万円/1カ所)	算出根拠	本事業費(366百万円)/実施箇所数(23)=16百万円/1カ所				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	325	203				
	環境保全調査等委託費	0	3				
計	325	206					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<p>特定外来生物は生態系、人の健康、農林水産業などに大きな被害をもたらしており、現状を放置すると、被害がますます拡大すると予測されることから、早期に防除を行う必要があり、早期に対応することは費用面でも有利である。</p> <p>本事業は、希少種の生息地や国立公園などの国として保護を行う必要がある地域を対象として防除を実施している。小笠原については、世界自然遺産登録にあたりユネスコ世界遺産委員会より侵略的外来種対策の継続が要請されている。</p> <p>また、広範囲に分布、定着している特定外来生物については、地方公共団体や民間による地方の取組を支援するため、モデル事業を実施している。これは、特定外来生物被害防止基本方針に示された国と地方の役割分担に基づくものである。</p> <p>本事業の執行率は高く、不用はほとんど発生していない。</p>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>百万円以上の契約については可能な限り競争性のある契約方法を採用している。</p> <p>経費は、防除に当たった事前調査や計画策定、実際の防除における人件費、防除に用いるわな等の購入費など防除事業を実施するために不可欠な用途に充てられている。</p>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>防除の手法は、過年度の事業成果をフィードバックすることにより、実効性の確保に努めている。</p> <p>また、モデル事業による経験は取りまとめてマニュアル化し、他の事業の参考となるよう公開している。</p> <p>国の事業としては、河川におけるオオキンケイギク等の防除は国土交通省が、水産業保全のための外来魚等の防除は水産庁が実施しており、生態系の保全に係る環境省の事業と役割分担がなされている。</p>
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 右記参照	
点検結果	<p>希少種の生息地や国立公園など、我が国の生物多様性保全上重要な地域を対象として特定外来生物の防除を実施しているが、防除により生息密度が低減しても、いったん捕獲圧を下げてしまえば個体数が回復してしまうことから、事業の継続的かつ効果的な実施が必要である。</p> <p>今後、特に防除により低密度化した段階での効率的な防除方法について、費用対効果も考慮しながら検討する必要がある。</p> <p>また、事業の対象となる外来種についての基準や防除の目標について明確化が必要である。</p>		
	予算監視・効率化チームの所見		
抜本的改善	<p>マンガースだけは、具体的目標がある。その他は、どこまで防除すれば目標・事業目的を達成できるか不明瞭。国費を投入するわけだから国民への説明責任を果たせるように防除、方法を工夫するなど予算縮減の努力をすべき。その仕組みが出来た部分は、他の外来生物対策に振り向けメリハリを付けるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>行政事業レビュー公開プロセスの結果を受けて、効率化に伴う人件費や賃金等の縮減を行うほか、防除の優先度の考え方を整理し、それに応じた防除目標や効率的な手法の検討を行う。また、広域分布外来生物防除モデル事業については、見直しを行うこととし、一旦廃止とした。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>【公開プロセスによる環境省行政事業レビュー】</p> <p>○年度 平成24年度(平成24年6月7日開催)</p> <p>○事業番号・事業名 4 特定外来生物防除等推進事業</p> <p>○取りまとめ結果 抜本的改善(現状維持1人、一部改善2人、抜本的改善3人、廃止0人)</p> <p>○取りまとめコメント(要旨) マンガースだけは、具体的目標がある。その他は、どこまで防除すれば目標・事業目的を達成できるか不明瞭。国費を投入するわけだから国民への説明責任を果たせるように防除、方法を工夫するなど予算縮減の努力をすべき。その仕組みが出来た部分は、他の外来生物対策に振り向けメリハリを付けるべき。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	315	平成23年行政事業レビュー	198

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているか
 について補足
 する) (単
 位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A.(財)自然環境研究センター			F.(財)自然環境研究センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員、作業員等	103	人件費	研究員、作業員等	21
旅費	現地旅費等	3	旅費	現地旅費等	2
謝金	検討委員等	1	謝金	講演謝金等	1
借料及び損料	作業車両リース	9	借料及び損料	レンタカー使用料等	1
その他	消耗品等	17	雑役務費	パンフレットデザイン費等	1
			その他	消耗品等	9
計		133	計		35
B.(株)環境総合テクノス			G.沖縄環境科学研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	主任技師等	3	人件費	技師補、作業員	4.8
旅費	現地旅費等	1	その他	車両使用料、印刷製本費等	0.6
その他	謝金、借上料等	2			
計		6	計		5.4
C.伊豆沼漁業協同組合			H.(財)日本鳥類保護連盟		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		3	人件費	主任技師等	1
			業務費	現地旅費、借上料、消耗品等	2
計		3	計		3
D.(株)ウエスコ岡山支社			I.(株)北開水工コンサルタント		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		3			
計		3	計		
E.新和技術コンサルタント(株)			J.(株)地域環境計画		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	技師A、B、C	1			
その他	旅費、印刷製本費等	1			
計		2	計		

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。

K.(株)地域環境計画					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	主任技師等	4			
業務費	旅費、印刷製本費等	2			
その他	諸経費等	3			
計		9	計		
L.(株)野生生物保護管理事務所					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
		8			
計		8	計		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。 </div>					
M.復建調査設計株式会社					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	主任技師等	1			
業務費	旅費、印刷製本費等	1			
その他	諸経費等	2			
計		4	計		
N.NPO法人生物多様性研究所 あーすわーむ					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	主任技師等	2			
業務費	消耗品等	1			
計		3	計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 那覇自然環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	奄美大島におけるジャワマングース防除事業	133	参加者確認公募	-
2	(株)南西環境研究所	沖縄島北部地域ジャワマングース等防除事業	74	1	99.7%
3	岩崎産業(株)	奄美大島におけるジャワマングース防除事業特定地域捕獲作業等業務	25	随意契約	-
4	(合)中京銃砲火薬店	イタチ捕獲器(延長型)納入業務	14	1	100.0%
5	(合)中京銃砲火薬店	イタチ捕獲器(特注改良型)納入業務	7	1	96.3%
6	(有)麻里府商事	赤外線センサー付きデジタルカメラ納入業務	3	1	96.3%
7	(株)南西環境研究所	「平成22年度沖縄島北部地域におけるジャワマングース防除事業報告書」作成業務	0.98	随意契約(少額)	-
8	(株)GISupply	動画対応野生動物カメラ10台納入業務	0.6	随意契約(少額)	-
9	(有)麻里府商事	センサーカメラ一式納入業務	0.6	随意契約(少額)	-
10	(財)自然環境研究センター	「平成22年度奄美大島におけるジャワマングース防除事業報告書」作成業務	0.6	随意契約(少額)	-

B. 近畿地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境総合テクノス	琵琶湖オオクチバス等防除事業調査業務	6	2	61.1%
2	(株)海洋生態研究所	琵琶湖内湖魚類生息状況調査業務	2	14	25.7%
3	(株)ベルカディア	外来生物防除等業務に係る防寒服購入	0.2	随意契約(少額)	-
4	城北水辺クラブ	外来魚防除の普及啓発	0.1	随意契約(少額)	-
5	(株)タカシマ	外来生物防除等業務に係る消耗品費	0.05	随意契約(少額)	-

C. 東北地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	伊豆沼漁業協同組合	伊豆沼・内沼オオクチバス等防除事業(定置網・刺網駆除事業)	3	随意契約	-
2	(財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	伊豆沼・内沼オオクチバス等防除事業(稚魚捕獲による駆除)	0.6	随意契約(少額)	-
3	NTT空間情報株式会社	航空写真 2500	0.2	随意契約(少額)	-

D. 中国四国地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ウエスコ岡山支社	平成23年度流水域におけるオオクチバス防除モデル事業業務	2	企画競争(H22~23)	-

E. 九州地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	新和技術コンサルタント(株)	蘭牟田池オオクチバス等防除モデル事業請負業務	2	1	94.5%
2	新和技術コンサルタント(株)	百葉箱の設置	0.2	随意契約(少額)	-

F. 関東地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	小笠原国立公園特定外来生物(グリーンアノール等)重点防除業務	35	企画競争	-
2	郵便事業株式会社	外来生物法に基づく規制等の実施に伴う任意放棄個体の保管及び輸送業務	0.003	随意契約(少額)	-

G. 那覇自然環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)沖縄環境科学研究所	沖縄島におけるグリーンアノール生息状況把握業務	5	7	74.3%
2	(一社)沖縄しまたて協会	石垣島におけるシロアゴガエル対策事業業務	3	5	93.8%
3	(株)八千代エンジニアリング	沖縄島におけるタイワンスジオ調査業務	2	9	53.0%
4	(一社)沖縄しまたて協会	八重山地域におけるオオヒキガエル等防除事業(西表島)	2	6	60.9%
5	(一社)沖縄しまたて協会	石垣島におけるオオヒキガエル防除事業業務	2	6	53.2%
6	(一社)沖縄しまたて協会	沖縄県浦添市におけるオオヒキガエル対策事業業務	0.998	随意契約 (少額)	-
7	(株)沖縄環境科学研究所	塩ビパイプによるグリーンアノール及びシロアゴガエルの捕獲手法検討業務	0.96	随意契約 (少額)	-
8	(株)シー・アイ・シー	グリーンアノール捕獲トラップ納入業務	0.96	随意契約 (少額)	-
9	(財)沖縄県公衆衛生協会	タイワンスジオ防除手法検討調査業務	0.9	随意契約 (少額)	-
10	(一社)沖縄しまたて協会	琉球・奄美諸島における外来生物レビュー業務	0.5	随意契約 (少額)	-

H. 釧路自然環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本鳥類保護連盟	平成23年度シマフクロウに脅威となるアライグマの捕獲調査業務	3	1	83.7%
2	NPO法人環境把握推進ネットワークPEG	平成23年度釧路湿原国立公園オオハンゴンソウ防除実証等業務	0.98	随意契約 (少額)	-
3	NPO法人環境把握推進ネットワークPEG	平成23年度釧路湿原湧水地等におけるアメリカミンクの防除等業務	0.8	随意契約 (少額)	-
4	(株)DBPowers	外来生物生息状況等データベース化ソフト購入	0.1	随意契約 (少額)	-
5	(株)猛禽類医学研究所	生息状況等調査用物品(電波発信機用受信機)購入	0.1	随意契約 (少額)	-
6	和商(株)釧路営業所	生息状況等調査用物品(電波受信用八木アンテナ等)購入	0.1	随意契約 (少額)	-
7	CQ/ハムセンター(株)	生息状況等調査用物品(電波受信用車載アンテナセット等)購入	0.1	随意契約 (少額)	-
8	シー・アイ・アール曾我(株)	動物調査用自動撮影カメラ使用物品(SD/SDHCカード等)購入	0.04	随意契約 (少額)	-
9	(有)中坂テント製作所	捕獲動物輸送用保定帯購入	0.04	随意契約 (少額)	-

I. 北海道地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)北開水エコンサルタント	平成23年度大雪山セイヨウオオマルハナバチ対策業務	0.6	随意契約 (少額)	-
2	札幌大同印刷(株)	外来生物普及啓発用パンフレット作成印刷	0.4	随意契約 (少額)	-
3	上士幌印刷	セイヨウオオマルハナバチパンフレット印刷	0.1	随意契約 (少額)	-
4	(有)片原商店	ウチダザリガニ防除*わな用餌他購入	0.1	随意契約 (少額)	-
5	(株)グリーンウッド	外来生物防除のためのゴム手袋他購入	0.03	随意契約 (少額)	-
6	北幸通産(株)	ウチダザリガニ防除*殺処分用LPGガス購入	0.01	随意契約 (少額)	-

J. 東北地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)地域環境計画 東北支社	国指定仙台海浜鳥獣保護区蒲生特別保護地区及び周辺地域外来種(植物)侵入状況調査業務	0.9	随意契約 (少額)	-

K. 九州地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)地域環境計画	九州地方アライグマ防除モデル事業	9	企画競争	-

L. 中国四国地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)野生動物保護管理事務所	四国地域におけるアライグマ防除モデル事業業務	8	企画競争 (H21~23)	-

M. 中部地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	復建調査設計株式会社	アルゼンチンアリ防除モデル事業(岐阜県各務原市)		4 総合評価方式(H22~23)	—

N. 長野自然環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人 生物多様性研究所 あーすわーむ	アライグマ生息状況調査		3 企画競争	—